

くわしくする言葉^ば②（いつ・どこ・どう）

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう（3もん）

🚩 きょうの
めあて

「いつ」「どこで」「どのように」
をくわしくする言葉^ばを見つけよう

🔍 まず、たしかめよう

- 「いつ」「どこで」「どのように」を表す言葉^{あらわ}も、述語^{じゅつご}をくわしくする修飾語^{しゅうしょくご}。
- れい：朝、公園で、ゆっくり歩く。

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 「夜、星がきらきら光る。」で「どのように」は？

ステップ①

「どのように
光る？」と聞く。

ステップ②

→ きらきら光る

ステップ③

きらきら

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 「きのう、川で魚をつった。」で「どこで」にあたる言葉^ばは？

☐ きのう

☐ 川で

☐ 魚を

② 「きのう、川で魚をつった。」で「いつ」にあたる言葉^ばは？

☐ きのう

☐ 川で

☐ つった

③ 「どのように」ねているか、くわしくする言葉^ばを書こう。

ねこが（ ）ねている。

答え 1. 川で 2. きのう 3. 例：すやすや（ぐっすり・まろくなって）

しつもんしよう

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📅 きょうの
めあて

もっと知りたいことを、しつもんしよう

🔍 まず、たしかめよう

- しつ蒙んの言葉^ば：いつ・どこで・だれと・何を・どうして・どうやって
- 話をさいごまで聞いてから、しつもんする。

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「かぶと虫を そだてています。」

ステップ ①

もっと知りたい
ことは？

ステップ ②

どうやって そだてて
いるか。

ステップ ③

何を
食べさせていますか。

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 「どうして」を聞くしつもんは どれ？

- ☐ いつから かっていますか。
- ☐ どうして その名前にしたのですか。

② () に合う しつ蒙んの言葉^ばをえらぼう。

「() で買ったのですか。」

- ☐ どこ ☐ だれ ☐ いつ

③ 「きのう、ケーキを作りました。」と聞いたら、どんなしつもんをする？

答え

1. どうして その名前にしたのですか。 2. どこ
3. 例：どんなケーキを作ったのですか。(だれと作ったのですか。)

かんじ
漢字 (いのち)

たしかめ いっしょに やってみよう (2もん)

きょうの
めあて

いのちの漢字「^{かんじ}血・^ち息・^{いき}命・^{いのち}死」を読んで書こう

きょうの漢字

血

音 ケツ
訓 ち
血・出血

息

音 ソク
訓 いき
息・休息

命

音 メイ
訓 いのち
命・生命

死

音 シ
訓 し (ぬ)
死・死

いっしょにやってみよう

「いきをすう」の「いき」は？

① 口や鼻からすう

② 「息」と書く

③ 答え 息

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) ひざから血が出る。

(2) 大きく息をすう。

(3) 生命のふしぎ。

(4) 車の死角。

② □に漢字を書こう。

(1) 赤い□。

(2) □をはく。

(3) 小さな□。

(4) 車の□角に気をつける。

答え 1. (1) ち (2) いき (3) めい (4) し 2. (1) 血 (2) 息 (3) 命 (4) 死

音読のくふう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

ないよう つた

おんどく

内容が伝わるように、音読のしかたをくふうしよう

文章を読もう

「まって。」と、ゆうなは大きな声でよびとめた。

弟は、ふりかえって、首をかしげた。ゆうなは、走ってきたいきをととのえてから、ゆっくり言った。「わすれもの、だよ。」

- 「、」では少し間をあける。「。」では、もう少し長く間をあける。
- 会話は、その人の気持ちを考えて、声の大きさや速さをかえる。

いっしょにやってみよう

れい 「まって。」は、どんな声で読むとよい？

ステップ ①

会話のあとを
読む。

ステップ ②

「大きな声で
よびとめた」

ステップ ③

大きな声

やってみよう

できたところまでで OK

① 「わすれもの、だよ。」は、どのように読むとよい？

☐ ゆっくり

☐ とても速く

② 「、」のところでは どうする？

☐ 少し間をあける

☐ 速口でつづける

③ 文章を音読するときに 大事なことは？

☐ 内容が伝わるように読む

☐ できるだけ速く読む

答え

1. ゆっくり

2. 少し間をあける

3. 内容が伝わるように読む

はいく

俳句① 五・七・五のリズム

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

はいく

俳句を声に出して読み、五・七・五のリズムを楽しもう

まず、たしかめよう

- 俳句は、**五・七・五**の十七音でできた、みじかい詩。
- きせつを表す言葉(季語)を入れることが多い。

ふるいけ かわず飛びこむ 水の音 (松尾芭蕉)

いっしょにやってみよう

れい

ふるいけ

「古池や」は何音？

ステップ①

指をおって
数える。

ステップ②

ふ・る・い・け・や

ステップ③

五音

やってみよう

できたところまででOK

① 「かわず飛びこむ」は何音？

☐ 五音

☐ 七音

② 「かわず」とは何のこと？

☐ かえる

☐ 魚

☐ 鳥

③ 「菜の花や 月は東に 日は西に」(与謝蕪村)は、どのきせつ？

☐ 春

☐ 夏

☐ 秋

☐ 冬

答え

1. 七音 2. かえる 3. 春